

2019年5月25日開催分

説明者/野田洋一郎

### 配布資料



旧喜界島海軍航空基地格納庫(2006年9月解体撤去)

同車庫は1941(昭和16)年建てられ、鉄骨鋼筋の度重なる空襲にも耐えた航空基地を守護する唯一の建物で、地域住民からは撤去を惜しむ声も聞かれる。

同社によると、車庫の高さは4階建てビルに相当し、広さは約2600平方メートルで、大型バス27台を収容できる。

(南日本新聞社 朝刊記事より転載)



この配布資料は格納庫の撤去記事が出た時のものと、右手は2018年10月28日付け南日本新聞に喜界島で爆発事故があり爆弾の破片がでたという記事でアメリカ軍の不発爆弾が爆発したのではとの記事。